

## 平成29年度第1回外洋常任委員会 議事録

日時：平成29年5月27日（土）16:15～17:30

場所：岸記念体育館 504 会議室

出席者：（理事）

植松眞副会長、坂谷定生常務、菊池邦仁、宇都光伸、中澤信夫  
（委員会）

ルール委員会外洋規則小委員長 大村雅一

外洋計測委員会委員長 吉田豊

外洋常任委員会事務局 鈴木保夫

（順不同、敬称略） 計8名

### 1. 委員長挨拶

植松副会長：理事会に引き続き、長時間ありがとうございます。  
宜しく申し上げます。

### 2. 報告・協議について

#### ・会員・艇登録システムにおける追加開発費について

坂谷：1月の団体長会議では追加開発費を約50万円と報告し、1団体5万円（6団体 30万円）の負担をお願いした。（残20万円は外洋常任予算）  
その後、最終的に74万円になったので、JSAF総務委員会と協議した結果、24万円は総務委員会で負担し、外洋形団体の負担は変わらないこととなった。

#### ・ジャパンカップ2017 現状報告について

坂谷：エントリーは最終的に11艇となった。  
運営は平松理事を実行委員長として組織した。  
本日、平松理事に詳細を報告してもらおうと考えたが、所用で欠席している。  
詳細報告は後日となる。

#### ・小笠原ヨットレースについて

鈴木：理事会で報告されていると思うが、特に報告すべき点は、古野電気（株）が今回開発したシステムを無償で提供してくれた点と、ソフトバンク（株）がスラヤ衛星電話を通信料も含めて無償で提供してくれた点である。他のレースにどのような条件で提供していただけるかは未定であるが、安く提供してもらえれば、他のレースでも採用するところが増えるのではないかと思う。

#### ・オリンピック応援フラッグリレーについて

菊池：弥勒に引き継がれたフラッグを青函レースに間に合わせるべく、引き継ぎ式

をいわきのサンマリーナ近々行うことを予定している。

いわき市長にセレモニーへの出席をお願いしている。いわき以降の予定を確認したい。

坂谷：時間は充分にあるので、全体像が出来ない間に小笠原レースに合わせスタートしたが、全体の計画が必要と考える。また、JSAFのHPにUPすることをも考えているが、今のところ専用のサイトは作らず、既存の何かにリンクすることを考えている。

大村：オリンピックのロゴを貼ることを考えている。一般的に使用しているロゴはまだ許可が出ていないが、もう少しすると許可が出るとのことである。

坂谷：全体計画を検討してから、いわき以降の計画を立てたいので、今年の青函レースには間に合わなくても良いので、それまで待つて頂きたい。大村さんには全体計画のたたき台を作っていただきたい。

- ・ライフジャケット問題におけるその後の経過について

大村：国交省及び保安庁と協議をした結果、「レースとレースの練習の場合は、JSAFのルールでやって良い」と、回答があった。

JSAFが管理統括しているレース及びJSAF登録艇が対象である。

内容については、大坪安全通信委員長が再度確認することになっている。

- ・その他

坂谷：今年の「台琉友好親善国際ヨットレース」に参加した艇のオーナーからJSAF宛に、お願いの文書が届いた。「レースの運営に不手際があったので、指導して欲しい」という内容である。

レースを主催した八重山ヨットクラブに事実を確認する。

吉田：座間味レースでも、有効期限が切れたレーティング証書を使用してハンディーを決めていることがあった。

坂谷：外洋艇推進グループとして確認したい。

以上。

文責：鈴木保夫